

赤十字

赤十字の人道活動は皆様方の

日本赤十字社活動支援費(日赤社費)で行われています

ご協力をお願いします

NEWS in 徳島

ニュース

第28号

平成24年12月
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1
TEL 088-631-6000
FAX 088-631-6100
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>

連携して命を守るために

中・四国赤十字合同救護訓練を実施

ピリピリとした緊張感の中、けたたましいサイレンとともに災害現場に到着した日赤救護班。続々と搬送されてくる負傷者とそれに対応する救護員の光景は、震災直後の被災地そのものでした。日本赤十字社は大規模災害に備え、中国・四国各県支部が連携した合同の災害救護訓練を10月27日・28日、愛媛県松山市で実施しました。

当支部からは、医師・看護師を含む医療救護班と赤十字防災ボランティアリーダー合わせて17名が参加。訓練では、重症度に応じて治療の優先順位を決めるトリアージ訓練をはじめ、ヘリコプターによる搬送訓練や負傷者の傷ついた心を癒す「こころのケア」などが行われたほか、各県の赤十字ボランティアが連携して迅速に避難者の誘導や負傷者の担架搬送などを行いました。

参加した救護員は、「今回の訓練では、消防や自衛隊などの機関とも連携が取れ、スムーズな救護活動が行えた。」や、「災害現場は、



搬送された顔面出血の傷病者を手当する徳島県支部の救護員

その場の状況に合わせて臨機応変に対応しなければならず、災害医療の難しさが身にしみて分かりました。」と語り、本番さながらの様子でした。

当支部では南海地震などの大災害に備え、今後さまざまな訓練を通して関係機関とのさらなる連携強化に努めてまいります。

2台目の「モバイルICU」で救急医療がさらに充実

—徳島赤十字病院—

四国で唯一、高度救命救急センターの指定を受け、急性期医療に取り組んでいる徳島赤十字病院では、心筋梗塞や重度の循環器疾患の患者を受け入れる際に、高規格救急車(通称「モバイルICU」)を出動させています。モバイルICUには治療に必要な医療機器を搭載しており、同乗した医師が現場到着から即座に治療を行うことで救命率の向上を図っています。

近年、出動回数は年間約200回もあるうえに、出動要請が重複することもあり、一台の稼働での運用に苦慮していました。

このような状況を踏まえ、徳島県赤十字有功会(古川武弘会長)の会員であります株式会社阿波銀行様、大塚グループ様、日亜化学工業株式会社様から、「モバイルICU」が寄贈されました。

10月30日に同院で行われた贈呈式では、古川会長が「循環器疾患を中心とした救急医療充実のために役立ててください。」と日浅芳一院長に目録を手渡しました。

受け取った日浅院長は「今後は、脳卒中や重症外傷の患者様

などにも活用できるようになります。機動性があり小回りがきく利点を活かし、一人でも多くの命を救えるよう尽力します。」とお礼を述べました。



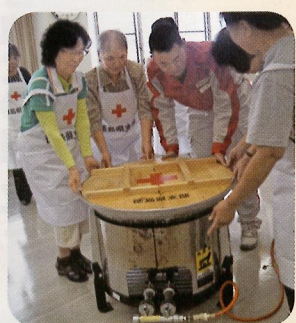
高規格救急車「モバイルICU」の目録を贈呈した古川武弘会長(右)と受け取った日浅院長(左)

全国初「赤十字炊き出しサポーター」を養成

去る9月4日・12日・13日、災害時に地域での炊き出しリーダーとして活動することを目的とした「赤十字炊き出しサポーター」を全国で初めて養成しました。

参加者は、災害用移動炊飯器の設置方法や災害用炊飯袋(ハイゼックス)の使用方法等について学んだ後、東日本大震災での炊き出し支援隊による活動発表を聞いた後、炊き出し指導を想定したグループワークに取り組みました。

当支部三木事務局長から「災害時には皆様を中心となって、命の源となる炊き出し支援を各地域で実施してくれることを期待しています。」と認定証が手渡されると、養成されたサポーターからは、「防災訓練や非常食づくりを通じて、地域の絆づくりと、いっそうの赤十字への協力を呼びかけたい。」と、熱く語ってくれました。



地域での災害に備え災害用移動炊飯器設置訓練を行う炊き出しサポーター

有功会西部支部が災害用移動炊飯器を地域に設置

全国初の有功会支部組織である徳島県赤十字有功会西部支部(伊丹一夫支部長)は、設立10周年を迎えたのを記念し、災害用移動炊飯器を三好市社会福祉協議会三野支所へ設置しました。

去る9月20日、支部設立10周年記念「赤十字



災害用移動炊飯器を贈呈する伊丹一夫支部長(左)と受け取る俵徹太郎市長(右)

セミナー」命を守る」で行われた贈呈式で、伊丹支部長から日赤徳島県支部三好市地区長の俵徹太郎三好市長へ贈呈されました。

「味」と「踊り」と「心」でつながる赤十字の「わ」

宮城県石巻市で3回目の炊き出し

東日本大震災の被災者を継続的に支援しようと当支部では山形県支部と合同で、6月30日から2日間、宮城県石巻市の仮設住宅2ヶ所を訪問し、炊き出しと心の交流を行いました。

今回の炊き出しは、昨年の宮城県気仙沼市・女川町に続き3回目となるもので、支援が多い大規模な仮設住宅ではなく、支援の行き届いていない小規模な仮設住宅で、炊き出しと被災者との交流をお願いしたいとの現地からの要請により実施したものです。

両県の赤十字奉仕団らが、徳島・山形の食材を使った炊き出しや、阿波踊りと花笠踊りで被災者に笑顔を届けました。



浴衣を着て仮設入居者に阿波牛の牛丼とそば米汁を配る徳島県の赤十字奉仕団員

徳島県の奉仕団員らが披露した阿波踊りには入居者の方々も加わり、会場は笑顔と歓声に包まれました。

活動報告 炊き出し支援隊第3陣に参加して

徳島県地域赤十字奉仕団 委員長 藤田 育美さん

震災から1年4ヶ月が過ぎ、被災者の方々のニーズも少しずつ変化している中で、今回は炊き出しと交流を図る目的で、石巻市の仮設住宅2ヶ所を訪問しました。

1日目は蟹田・内田地区の仮設住宅。この仮設住宅ではこれまで炊き出しなどの支援がなかったため、大変喜んでいただきました。「本当に楽しい一時だった。震災以来、初めて心から笑いました。」とおばあちゃんが涙を浮かべて見送ってくださいったのが印象的でした。

2日目はバイパス用地に建設された長さ1kmにも及ぶ仮設住宅。東西2ヶ所に分かれて計600食を提供し、阿波踊りと花笠踊りも2ヶ所で披露しました。

入居者の方々も一緒になって笑顔で踊ってくださり、仮設住宅を後にする際には、ずっと手を振って見送ってくれたことが感動的でした。

今回、被災された方々との交流を通じて、3月11日の大震災のことや被災された方々のさまざまな思いを「忘れない」、また支援活動を通じていただいた「感動」を一人でも多くの方に「伝える」ことが私たちの使命であると強く感じました。

すくすく育つ乳幼児

New! 乳幼児まつりで地域と交流

爽やかな秋晴れに恵まれ、新しい施設へ移転して初めての『乳（New）児院まつり』を、10月20日に開催しました。

金魚すくいやヨーヨー釣りなどの模擬店のほか、腹話術や目玉の一つである赤十字幼児安全法講習が行われ、多くの来場者に子どもたちも大はしゃぎの様子でした。おまつりに参加したお母さん方からは「元気な乳幼児から、たくさんさんの元気をもらいました。」や「こんなにあったかい気持ちになつたおまつりは初めてです。」と話してくださいました。

大盛況のうちに終えることができたのも、大勢のボランティアの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



狙った獲物は逃がしません

完全腹腔鏡下胃癌手術について

第二外科部長 沖津 宏

シリーズ 徳島赤十字病院 第4回 消化器外科

徳島赤十字病院の診療科をご紹介しますシリーズ「徳島赤十字病院」。今回は、患者様に負担が少なく、優しい手術を追求する消化器外科です。

腹腔鏡下胃癌手術は、従来腹部に1cm程の穴を5箇所と4cm程の開腹によって胃癌部位の切除と胃の縫合を行うことが一般的でした。

しかし、より身体への負担を軽減させる手術を目指し、開腹せずに手術を行い、最後にへそから切除した癌を取り出す「完全腹腔鏡下手術」が、手術経験の蓄積や手術器具の改良により可能となりました。

胃の出口付近の幽門側胃切除、胃の入り口付近の噴門側胃切除、大きな胃癌に対する胃全摘など、いずれの場合もこの手術が可能で

す。胃の縫合には自動縫合器を用います。

幽門側胃切除を例に挙げると、残った胃と十二指腸をこの器具を用いて繋ぎ合わせ（図1）、さらにこの器具の挿入部の穴を閉鎖する（図2）ので、2回の使用により短時間で残った胃と十二指腸の再建が完成します（図3）。当院では2009年からこの手術を導入し、すでに150例以上行っていますが、合併症はありません。今後も患者様にとって負担の少ない優しい手術を心がけて治療を行ってまいります。

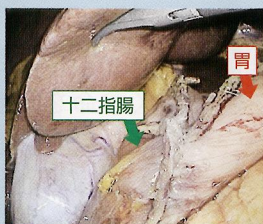


図3 胃と十二指腸の再建が完成

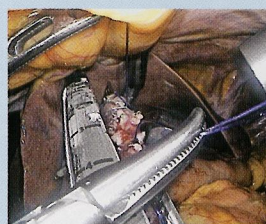


図2 器具の挿入部を閉鎖

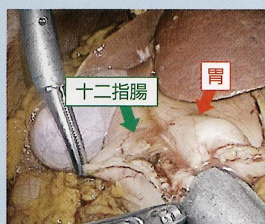


図1 胃と十二指腸を繋ぎ合わせる

ちいさな翼で、おおきく羽ばたけ

青少年赤十字活動を紹介

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（以下「トレセン」）は、学校や地域社会で活躍するリーダーの育成を目的としています。

今年度は小・中・高校生合わせて51名が参加し、リーダーとして必要な自主・自律の精神を身に付け、赤十字や青少年赤十字に関する知識と技術を学びました。

生徒からは「とても楽しかった。来年は中学生として参加したい。」とトレセンの楽しさを話してくれたり、「トレセンで学んだことを学校や社会で活かしたい。」と、コミュニティーの中でリーダーとして活躍することを約束してくれました。



負傷者を手当てし、協力して車いすで移動させるメンバー



「紺綬褒章」が伝達されました

紺綬褒章は、人々の福祉向上のために日本赤十字社などに多額のご寄付をいただいた個人や法人に、日本国天皇から贈られる褒章です。

去る7月10日、戎谷 一平様（海部郡美波町）と吉田 功様（板野郡藍住町）、並びに日亜化学工業株式会社 様（阿南市上中町）に日本赤十字社徳島県支部長の飯泉嘉門知事から紺綬褒章が伝達されました。



飯泉嘉門知事から紺綬褒章の伝達を受ける戎谷一平様（左）

戎谷様は、徳島県赤十字有功会員として長年にわたり赤十字活動への支援を継続されており、日亜化学工業様も同様に有功会員として継続的な支援に加え、東日本大震災発生時に多額の赤十字活動支援費を寄せられました。

また、吉田様におかれましては、日本赤十字社の救護活動をはじめとする人道活動に深いご理解をいただき、多額のご寄付を寄せられました。

日本赤十字社では、寄付金額に応じて次のような表彰を贈らせていただいております。

日本赤十字社の表彰制度

表 彰 種 別	金 額	備 考
銀色有功章	20万円以上	有 功 章 と 門 標
金色有功章	50万円以上	
日本赤十字社長感謝状	金色有功章受章後 再度50万円以上	感 謝 状
厚生労働大臣感謝状 (国からの表彰)	個 人 100万円以上	感謝状と記念品
	法 人 300万円以上	
紺綬褒章 (国からの表彰)	個 人 一時または数次(3年以内)に500万円以上	章 記 と 褒 章
	法 人 一時または数次(3年以内)に1,000万円以上	

■有功章(個人)門標(桜製)

■金色有功章(個人)章記・賞状



■金色有功章(法人) 楯 (右)
銀色有功章(個人・法人) 楯 (左)



■紺綬褒章



ご寄付についてのお問い合わせは

日本赤十字社徳島県支部事務局 総務課(TEL:088-631-6000)まで

ウガンダの妊婦と小さな命を救うために

2012年1月から半年間、母子保健事業の管理要員としてウガンダに派遣されました。

母子保健事業では、妊婦に対して産前健診を呼びかけたり、出産に必要な衛生材料を提供したり、地域集会やラジオ放送等で母性保護の必要性を広める運動など、地域の妊産婦を支援する取り組みを行っています。

ある日、母子保健ボランティアの方が「この事業は、妊産婦の健康だけでなく、地域をも創ってくれている。とても感謝しています。」と話してくださいました。この事業がウガンダに活力と人々の繋がりをもたらし、着実に前進しているのだと実感することができました。



赤ちゃんと産婦の様子を確認する鈴江看護師（左）

事業開始から2年半が過ぎ、産前健診を受ける妊婦の数や助産師立会いの分娩数は増加しています。安心して出産できる社会の確立が、地域発展と住民の笑顔につながると感じています。

徳島赤十字病院

鈴江 知子 看護師

赤十字AEDで救われた命

昨年10月に行われた徳島市八万町民体育祭で、突然倒れた60代の男性が、待機していた医師・看護師の適切な対応と赤十字AED(自動体外式除細動機)によって一命をとりとめました。

救護を行った医師の話では「現場での適切な心肺蘇生とAED無しでは回復は望めなかっただろう」とのことでした。

毎年本体育祭に、八万中央コミュニティセンターに設置している赤十字AEDを持参している八万町各種団体連絡協議会の明野タネさんは「赤十字AEDによって救われる命があり本当に良かった!」と話してくださいました。

赤十字AEDは地域の公共施設や県内の学校などに設置されており、皆様の

のすぐそばで尊い命を見守っています。

日本赤十字社徳島県支部では、心肺蘇生やAEDの使用方法などを学ぶ赤十字救急法講習を随時開催しております。

講習の依頼は当支部までお気軽にご相談ください。(Tel: 088-631-6000)



八万町各種団体連絡協議会の明野タネさんと実際に使用した赤十字AED

ご存知ですか、赤十字への遺産のご寄付

近年、大切な方を亡くされた方から、「故人の遺産を社会のために寄付したい」「自分で築いた財産を相続させた後の余剰財産を寄付したい」という相談やお申し出が増えています。

日本赤十字社では、こうした尊いご意志に応えるために、遺贈による寄付・相続財産の寄付を賜っています。

○遺産による寄付

遺言書の内容により、遺産の受取人やその内容を指定することができます。(遺言による相続は、民法が定めている法定相続の規定よりも優先されます)

この遺言による方法で、財産の一部の受取人として日本赤十字社徳島県支部を指定することができます。

○相続財産による寄付

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始から10ヶ月以内)に日本赤十字社にご寄付いただいた場合、その寄付された財産には相続税がかかりません。(税制上の優遇措置が適用されます。)

香典返しのご寄付や遺産のご寄付などのご相談は、
日本赤十字社徳島県支部事務局 総務課 TEL:088-631-6000 まで

様々な形での「ご寄付」を赤十字へ

次の方々から香典返しに替えて赤十字へご寄付をいただきました。

加藤 芳久 様 (小松島市金磯町)

光永 良子 様 (阿波市土成町)

中島 勝 様 (板野郡板野町)

※他匿名希望の方5名

ご意志に沿い、赤十字の人道活動に有効に活用させていただきます。

「香典返し」のご寄付について

感謝の気持ちとして「お返し」をするのは、伝統的な日本の習慣です。

タオルやお茶などの日用品を贈ることが一般的なようですが、最近、こうした品物を贈るかわりに赤十字の人道活動へ寄付したいとお申し出が増えています。赤十字が挨拶状の作成・発送等のお世話をいたします。

●20万円以上 銀色有功章の贈呈・挨拶状作成等のお世話
●50万円以上 金色有功章の贈呈・挨拶状または新聞掲載のお世話

赤十字へのご寄付は、所得税・法人税・相続税の控除対象となります。



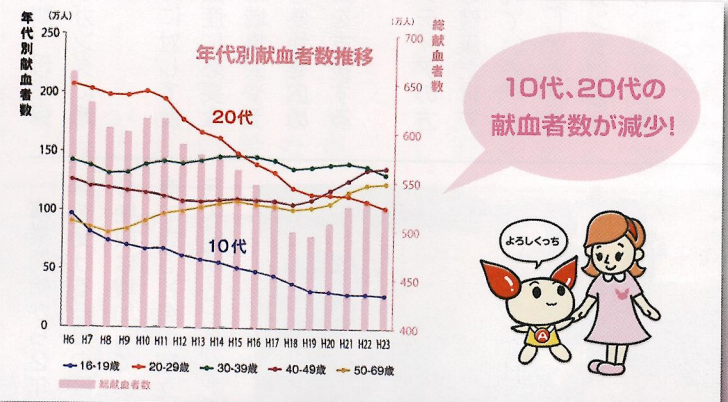
人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

求む!! 若い力! ー若年層献血にご協力くださいー

血液は、まだ人工的に造ることができず、また、長期にわたって保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かの血液が必要となります。

しかしながら、少子高齢化が今後ますます進むと、将来の輸血用血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。今後の安定供給のためにも、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠です。

この機会に、ぜひ献血にご協力ください。



献血の大切さに共感!

Love in Action プロジェクト ご当地大作戦 in 徳島

若年層を中心に献血の大切さや必要性を啓発するため、10月28日、ゆめタウン徳島にて「Love in Action プロジェクトご当地大作戦in徳島」を開催しました。

本プロジェクトリーダーであるラジオDJ山本シュウ氏を中心としたトークセッションで、若年層の献血の大切さを来場者へ訴えかけた後、お笑い芸人ゆったり感、シンガーソングライターエバラ健太氏によるライブが行われ、会場を盛り上げました。



若い世代の献血の必要性を熱心に訴える山本シュウ氏(左)

同時に移動献血車による献血も実施し、プロジェクトに賛同いただいた多くの方が「私も献血してみよう!」と、実際に献血車へと足を運んでくれました。

入選作品発表

献血推進ポスター

献血「キミに届けたい愛のメッセージ」

県内の多くの中学生・高校生に献血への関心を持っていただくため、献血推進ポスターの募集を行いました。県内各校からたくさんの応募をいただき、審査の結果、最優秀賞は徳島県立川島高等学校2年 和泉 早紀さんに決定しました。

また、献血にまつわるメッセージを募集した、献血「キミに届けたい愛のメッセージ」では、吉田 誠さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

最優秀賞



徳島県立川島高等学校2年 和泉 早紀さん

献血「キミに届けたい愛のメッセージ」

最優秀賞 吉田 誠 さん

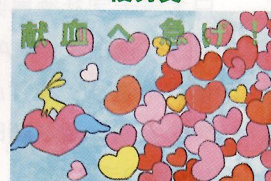
「勇気を振り絞った「初めての献血」。
だけど、本当に必要なのは勇気ではなく、
少しのやさしさと思いやりということを知りました。」

優秀賞



吉野川市立川島中学校3年 前田 ちひろさん

優秀賞



吉野川市立川島中学校3年 山野 咲帆さん

優秀賞



生光学園高等学校2年 内藤 朝恵さん

優秀賞



美馬市立岩倉中学校3年 藤野 涼介さん

献血にご協力いただいた方に

AKB48 ポスタープレゼント!

献血ルームアミコでは、2月1日から、献血にご協力いただいた方へ「AKB48×日本赤十字社」特製ポスター(ヨコ型)を差し上げます。(先着950名様)
この機会にぜひ、献血ルームアミコへお越しください。

献血ルーム アミコ

- 受付時間 9:30~13:00
14:00~17:00
(成分献血は16:00まで)
- 定休日 第一火曜日
- お問い合わせ先
0120-688-950
(フリーダイヤル)



定期献血場所のご案内

血液センターでは毎月、以下の日程で移動採血を実施しております。定期献血場所にてご協力いただいた方には、特別記念品(日用品など)を差し上げております。
お買い物などでお立ち寄りの際にはぜひ、400mL献血にご協力くださいますようお願いいたします。

日付	場所	受付時間
毎月 第一土曜日	マルナカ徳島店	9:30 ~ 11:00 12:30 ~ 16:30
毎月 第三土曜日	ゆめタウン徳島	11:30 ~ 16:00
毎月 第四土曜日	フジグラン北島	9:30 ~ 11:00 12:30 ~ 16:30

※都合により日程は変更する場合がございます。詳しくは徳島県赤十字血液センターホームページまたはフリーダイヤル0120-688-994までご確認ください。



<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します>

- ・日本赤十字社徳島県支部事務局 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000
- ・徳島赤十字病院 小松島市小松島町井ノ口103 TEL:0885-32-2555
- ・徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903
- ・徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200
- ・徳島赤十字乳児院 小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555